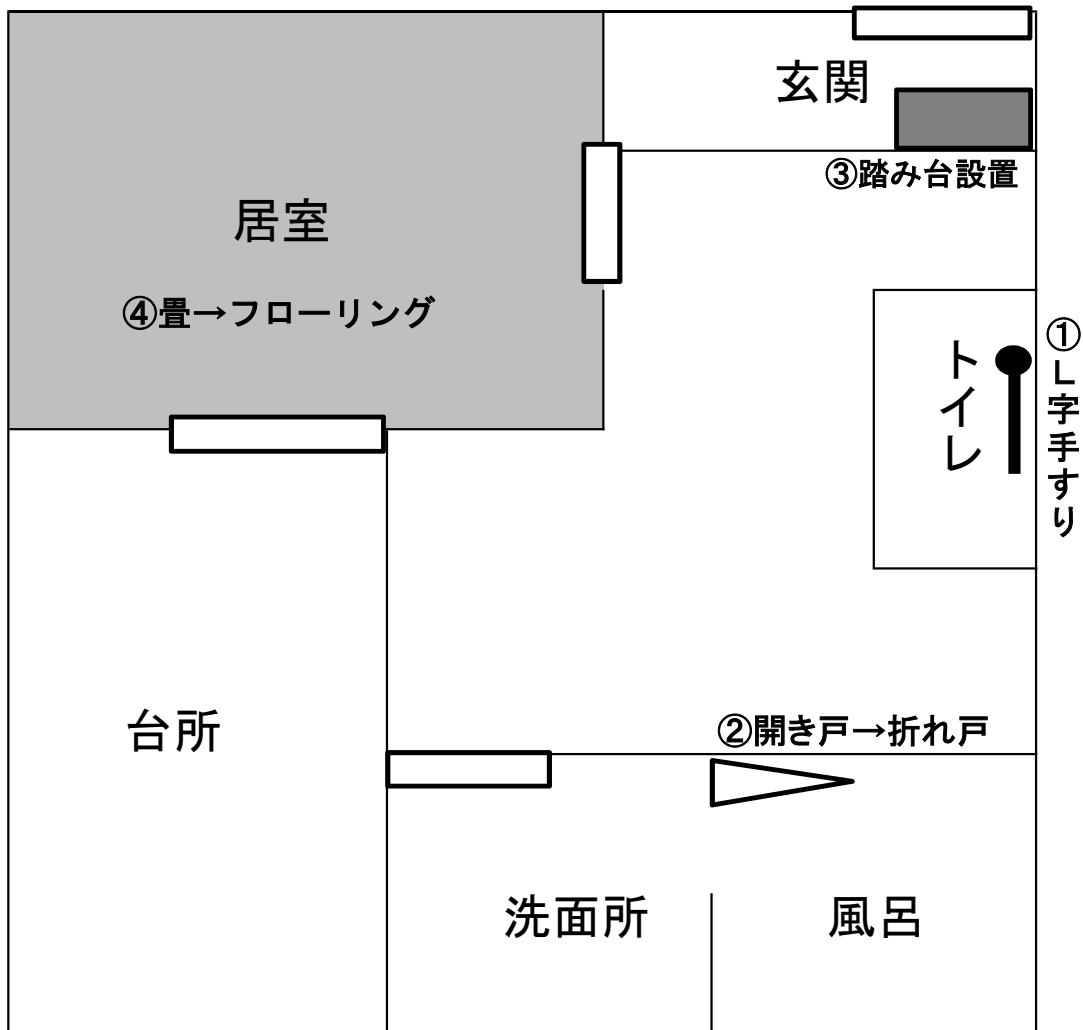


# 図面（平面図）作成例



※改修内容や位置がわかるように赤ペン等で書き込みをしてください。

また、理由書、工事費内訳書、写真と照合しやすいように改修箇所ごとに番号をつけてください。

※生活動線を確認しますので、改修箇所のみでなく全体の平面図で作成してください。